

川上ダム通信

9

月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

河川環境フェスティバル開催

8月7日(土)、伊賀市阿保の木津川河川敷で「第10回河川環境フェスティバル」が、伊賀市長や県議会議員、市議会議員出席のもと、盛大に開催されました。当日は晴天に恵まれ、川上ダム建設所もブースを設け、ダム建設予定地周辺に生息する水生生物の観察をしていただいたり、パネルを用いて川上ダム事業をご説明いたしました。

◇アユのつかみ取り◇

河川敷内に仮設の生け簀を設置し、伊賀川漁業協同組合協力のもとアユを約1,200匹放ち、休みの子供達と一緒にアユのつかみ取りを楽しみました。参加した多くの子供達は、ビショビショになりながらも、逃げ回るアユを楽しそうに追いかけていました。捕まえたアユを両親に、満面の笑みで自慢気に見せている姿がとても印象的でした。捕まえたアユを塩焼きにし、親子でおいしそうに食べている姿に、おいに食欲をくすぐられました。

◇水生生物の観察◇

環境学習の一環として、川上ダムのブースでは、身近な河川に生息する水生生物を子供達に顕微鏡で観察してもらうこととしました。顕微鏡を覗くと、ヤゴやメダカ、サワガニ、トビゲラといった水生生物を、細部に渡って観察することができました。子供達は、普段見ることのできない姿に、「すごい!」、「初めて見た!」といった驚きの声をあげていました。

近年、子供達がこうした自然や生物に触れる機会が減っているとされています。この河川環境フェスティバルを通じて、子供達は、魚や水生生物を肌で感じ、河川環境の保全の大切さを実感してくれたのではないのでしょうか。

【第二用地課 松高遵】



子供達でにぎわうアユのつかみ取り



身近な水生生物について学ぶ

桐ヶ丘夏祭り開催

8月7日(土)に、桐ヶ丘団地内の公園において「桐ヶ丘夏祭り」が開催されました。この夏祭りに、川上ダム建設所も参加し、ブースを出展いたしました。

午前中は非常に厳しい暑さでしたが、開始時間が近づくと心地よい風が吹き抜け、涼を感じることができました。お祭りが始まると、大勢の人が青山太鼓や沖縄エイサー、よさこい踊り、盆踊りなどで盛り上がっていきました。

川上ダムのブースは、親子で楽しくクイズにチャレンジしながら、水やダム、オオサンショウウオの生態について学んでいただくというものでした。見事クイズに正解した子供達には、カブトムシをプレゼントしました。カブトムシは毎年、樹液の多い木に来るため、現場作業の折に少しずつ収集し、育成してきたものです。夏のヒーローカブトムシに、子供達は満足げな様子でした。

その他にも、手作りの園芸用ブロックとアサガオの種を配布いたしました。アサガオの花が咲き誇る来年の夏が、今から楽しみです。

【第二用地課 松澤俊一】



カブトムシをプレゼント



宵の口のにぎわい

環境学習会を実施

川上ダム建設所では、前深瀬川流域に多く生息する、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオ保全の取り組みの一環として、8月5日に「伊賀地方におけるオオサンショウウオについて」と題して、環境学習会を開催いたしました。

川上ダムオオサンショウウオ調査・保全検討委員会の委員である松月茂明先生と、三重県文化財保護指導員である清水善吉先生を講師にお招きし、川上ダム建設所職員や木津川ダム総合管理所職員、工事業者などを対象に、貴重なお話を伺いました。

最初に松月先生より「オオサンショウウオってどんな動物」と題してオオサンショウウオの基本的な生態について講演いただきました。続いて清水先生より「オオサンショウウオの保全と課題」と題して伊賀地方で実施されてきたオオサンショウウオにおける保全対策の説明、保全対策に関する課題について講演いただきました。

今回の環境学習会で講演いただいた内容を踏まえ、今後のオオサンショウウオ保全の取り組みを行ってまいります。

【環境課 鷲尾盛士】



松月茂明先生



清水善吉先生

第3回 伊賀市周辺の水辺の土木

川と水との接点～上瀬橋～

伊賀市比土地地区にある^{かみせげし}上瀬橋（写真①）。高瀬橋とも呼ばれ、橋の右岸側に建立された石碑には「大正3年5月に竣工」と刻まれています（写真②）。一見、なんら変哲もない沈下橋（大雨で増水すると水面下に沈んでしまう橋。別称：沈橋、潜橋）ですが、実はなんと「日本の近代土木遺産」（土木学会）に指定されているのです。「上野盆地は隠れた沈下橋の宝庫（14橋現存）で、上瀬橋はそのルーツといえる橋」であり、「橋脚・内部の桁に石材を視認できる」ことが選定された理由のようです。

木津川は、この上瀬橋付近から水勢を強めて上野盆地へ流下していきますが、明治以前に架けられた橋のほとんどは、木や土で造られているため洪水に弱く、橋が流されたことを記録する橋供養碑も各地に残されています。

明治時代からセメント生産を始めた日本では、大正時代になると各地でコンクリートや石材を組み合わせた永久構造物が造られるようになりました。こうした時代に、上瀬橋は人々が待ち望んだ洪水に強い近代橋として建造されたもので、これをモデルとして沈下橋が上野盆地の各地に広まっていったのです。



写真①：上瀬橋



写真②：架設記念碑

【調査設計課 金山明広】

EVENT

大鍋イベント in さるびの温泉

伊賀の国・大山田さるびの温泉で「大鍋イベント」が開催されます。今月のメニューは「おしるこ」です。巨大な鍋でおしるこを調理し、来客者にふるまう秋のおいしいイベントに、是非足を運んでみてはいかがでしょうか。

○日時/9月20日(月/祝)、10:00～

○場所/伊賀の国・大山田さるびの温泉

○問い合わせ/同上

Tel: 0120-46-0268

上野城 薪能

上野城をバックに、昭和59年より毎年開催され、全国に多くのファンを持つ薪能。この薪能の観賞を通じて、日本の伝統芸能の魅力に触れ、芸術の秋を堪能してはいかがでしょうか。

○日時/9月25日(土)

○場所/上野公園・上野城本丸広場特設舞台

○問い合わせ/伊賀市産業建設部商工労働観光課

Tel: 0595-43-2309

編集後記

今年の夏は、まさに猛暑でした。熱中症により病院に搬送される方々が、各地で続出しました。皆様も、日々の体調管理に苦勞されたのではないのでしょうか。

季節は秋へと向かいます。体調管理に十分配慮して、秋の味覚や大型連休を満喫していただければと思います。

また、引き続き、節水にご協力をお願いいたします。

【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治（川上ダム建設所長）

デスク 吉岡 直也（総務課長）

〃 柳生 光彦（工務課長）

通信記者 堀 雅智（総務課）

加藤 晶久（第一用地課）

松高 遵（第二用地課）

森岡 浩然（調査設計課）



ISO14001 : 2004

JQA-EM5769

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇